

ゾーニング（案）

※本案は「農業文化園・戸田川緑地魅力向上事業における民間活力導入についてのサウンディング調査（２回目）実施要領」にてお示ししている農業文化園・戸田川緑地の概要（現況）、魅力向上の考え方、公募概要（案）に基づいて、本市が作成したゾーニング案です。具体的な事業条件等に関するご意見をお伺いするために作成したものであり、配置に関する整備条件をお示ししたものではありません。

【公園全体における配置の考え方】

- ・南地区全体の回遊性が向上するよう整備
- ・バリアフリーに配慮し、誰もが使いやすい配置、線形となるよう整備
- ・隣接するとだがわこどもランド利用者の利便性も考慮した整備

【農体験ゾーン】畑・温室

- ・デイキャンプ場を畑に再整備する。
- ・既存の炊事棟を活用し、収穫した野菜を洗ったり、イベントで活用できるよう整備する。
- ・畑と園路は、既存の畑と同様、やわらかな風景を構成するよう緩やかな曲線を描くような形とする。

【賑わいゾーン】イベント広場

- ・駐車場からのアクセスが良く、とだがわこどもランドのイベントも開催できるとだがわこどもランドと駐車場の間に、イベント等が開催できる舗装広場を設ける。
- ・舗装は、夏季の暑さにも対応できるよう遮熱舗装や、降雨後の早期利用が可能となるよう透水性舗装とするなど、来園者に配慮した舗装とする。

【憩いゾーン】設置許可を想定

- ・陽だまり館跡地と野外ステージ跡地に、飲食ができる憩いスペースを確保する。
- ・デイサイトスペース、地元農産物を使った手ぶらBBQとしての活用などを想定する。



■BBQのイメージ

【駐車場ゾーン】

- ・既存の駐車場間のアクセスを向上させ、近隣の渋滞緩和を図るとともに、各ゾーンへのアクセスを向上させる。
- ・行楽シーズンやイベント時の混雑対策として、南地区の駐車場を拡大。



【農体験・交流ゾーン】

〈拠点施設〉

- ・公園の管理事務所や農体験の受付等を整備する。
- ・周辺の体験農園や貸農園、地元野菜の紹介など情報発信する機能を設ける。

〈畑・温室〉

- ・身近に収穫体験や野菜の栽培を見学することができるよう畑と温室を整備する。
- ・体験作業の説明や準備、収穫した野菜等を使ったワークショップ等ができるよう広場を設ける。



■農体験施設のイメージ

〈産直施設、飲食施設、展示施設〉

- ・地元農産物の販売施設や飲食施設、農に関する講習会等を開催できる施設、農の学習展示施設を整備する。
- ・屋外で移動販売したり、イベントを開催したりできるようマルシェ広場を設ける。
- ・マルシェ広場には、多くの人が購入した飲食物を食べたり、待ち合わせができる休憩施設を木陰に設ける。



■マルシェ広場のイメージ

【遊びゾーン】

- ・名古屋市を代表するような、幅広い年齢の子どもたちが遊べるアスレチック要素の高い複合遊具を設置する。（野菜を模したデザインにするなど、農に親しむことができるもの）
- ・子どもたちが遊んでいる姿を見守ったり、会話を楽しんだりできるよう縁台やベンチを設置する。
- ・縁台やベンチは、木陰で休息できるよう高木付近に設置する。

【園路】

- ・既存の園路を利用し、園内全体を回遊できるよう整備する。
- ・バリアフリーに配慮した整備とする。